

東金市立東中学校

1 学校の紹介

(1) 学校と地域の概要

本校は、昭和 61 年の開校から、創立 34 年目を迎える。学区は九十九里平野のほぼ中央部に位置し、北部の丘陵地と南部の平野部からなり、3 学区で構成されている。地域は、開校後新居住者の流入により生徒数が漸増してきたが、近年は減少傾向にある。保護者並びに地域住民の学校教育に対する関心は高く、学校行事や地域行事、PTA 行事等に協力的である。生徒は、地域的に素直で純朴な子が多い。部活動が活発で、様々な教育活動での意欲化につながっている。校訓は、「自律・創造・友情」である。

(2) 学校教育目標

「郷土を愛し、これからの時代を主体的・創造的に自立して生きる生徒の育成」

○めざす生徒像

- ①主体的に学ぶ生徒
- ②自他を大切にし、協力し合える生徒
- ③健康でたくましい生徒

○めざす学校像

- ①生徒と教職員に信頼関係がある学校
- ②いじめや不登校のない明るい学校
- ③保護者、地域に信頼される学校

○めざす教師像

- ①生徒の成長を第一に考える愛情のある教師
- ②研究と修養に励む向上心のある教師
- ③組織の一員として協働できる教師

(3) 読書活動に関する目標

目標「情報活用能力の育成 ～各教科での活用をめざして～」

- ・読書に親しむ生徒を育て、読解力や情報活用能力の向上をめざす。
- ・各教科での学校図書館の活用をめざす。

2 自校の図書館の現状

| | |
|-----------------|----------------|
| 学校図書館図書基準の定める冊数 | 12,640冊 |
| 平成30年度蔵書数 | 15,075冊(30年度末) |
| 学校図書館基準の達成状況 | 119% |

標準冊数は達成しているが、資料価値の低い本や劣化の激しい本も含まれている。

○ 利用状況

本校では、毎朝 10 分間の読書を行っているのですが、本に親しむ環境は整っている。しかし、学校図書館の昼休みの貸出し状況は、図書館のある 2 階フロアの 3 年生が中心である。本年度から貸出し活動を再開したことや 10 分間の貸出し時間という限られた時間であることから、貸出し冊数はなかなか伸びていないが、毎日来室する生徒は 20 人前後である。

3 図書館の司書教諭及び図書主任等の教員の取組

(1) 校内組織と主な役割

校長 — 教頭 — 職員会議 — 教科外指導部 — 図書館教育 — 学習委員会（図書担当）

- 図書主任の役割としては、生徒が読書に親しむ環境を整え、図書館利用の充実を図る。
- 本校には図書館司書は配置されていない。
- 学校図書館担当教諭は、図書館の整備、購入図書の選定や学習委員会の図書館運営などの図書館教育の活性化を目指す。

(2) 生徒や教員に対する支援

ア 学校図書館の運営に関すること

学校図書館蔵書データベース化の導入

東金市は、学校図書館の利活用率が全国平均を下回っている状況にあるため、本年度、学校図書館と公立図書館との連携により、学校図書館蔵書のデータベース化と公立図書館の移動図書館事業等の既存事業を発展・活用して相互貸出しのネットワーク化を図り、さらに学校司書や図書館司書などの巡回配置により「調べる学習」などのアクティブラーニングの拠点とする図書環境を整えることになった。

これにより、学校図書館の利活用率の向上とともに、子供たちの「自ら学び、思考し、表現する力」を育成し、人間力の形成と確かな学力の向上を図る。各学校において、蔵書の整理とデータベース化は学校司書と図書館司書の指導の下で行い、学校図書館の本のネットワーク接続が進められる。

整備と管理

- ・蔵書全てにバーコードを付けて、データベース化して管理する。
- ・「新入荷本コーナー」「学習コーナー」などを設け、手軽に本を手にとれる工夫。
- ・4月に1年生を対象に、学校図書館利用のオリエンテーション。
- ・授業の内容とリンク（古典、歴史など）した掲示物、本の紹介（ポップ）。
- ・選書はアンケート実施、さらに読書感想文課題図書の紹介。

イ 読書推進活動に関すること

朝読書・読み聞かせ

毎朝、登校完了時間から8時20分までの10分間、全校で読書を行い、教員も生徒と読書をしている。教員もそれぞれのおすすめの本を学級文庫に置いて、読書環境の整備に努力している。1日のスタートとして、落ち着いた雰囲気づくりに役立っている。

また、1学年を対象として、地域のボランティア4名による読み聞かせを1年間、定期的実施している。生徒も絵本の読み聞かせを楽しみにしている。

ポップに掲示

授業での実践や美術部の協力を得て、学校図書館内と廊下にポップを掲示している。サイズも小さなものから、大きなサイズまで多様で、読み手はもちろん、作り

手も楽しみながら作成していた。また、おすすめ本コーナーには、生徒による紹介カードを置き、書棚にもポップ（小）を飾っている。コメントを読んで、参考になっている生徒も多い。

【読み聞かせボランティア】



【テーマ別コーナー】



【おすすめ本のポップ】



(3) 学習等に関する支援

ア 教科指導等に関すること

| | |
|---------|--|
| 国語科 | <ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの本「読書案内」ポップづくり（1，2年）【指導案1参照】 ・手紙、敬語に関する本「気持ちを込めて書こう」（2年） ・職業に関する本「多様な方法で情報を集めよう」（2年） ・論語に関する本「学びて時にこれを習ふー『論語』からー」（3年） <p style="text-align: right;">【指導案2参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章表現、感情表現に関する本「作文」（1～3年） |
| 理科 | <ul style="list-style-type: none"> ・動物図鑑「動物のなかま」（2年） |
| 社会科 | <ul style="list-style-type: none"> ・税金に関する本（3年） |
| 美術科 | <ul style="list-style-type: none"> ・私を描く「パーツデッサン」（2年） <p style="text-align: right;">【指導案3参照】</p> |
| 総合的な学習等 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業調べの関連資料の貸し出し（1年） ・グリーンスクール、職場体験の事前学習（2年） ・修学旅行の事前学習（3年） |

イ 特別活動に関すること教科指導等に関すること

○図書委員会による活動

- ・図書館貸出し作業・本棚の整理・学級文庫の管理・図書だよりの発行（ボランティアによる書棚清掃）

○クラブ等への支援

- ・美術部への貸出し（デッサン等の本）、科学部への貸し出し（実験等に関する本）

4 学校司書や公共図書館との連携

学校図書館と東金図書館との連携

東金図書館では学校や学校図書館との協力・連携を深め、児童・生徒の図書館利用や読書活動・調べ学習をより充実したものにするための活動が行われている。

・授業や調べ学習で使う図書の貸出し、学級文庫への貸出し

調べ学習で使用する本や授業の参考とする本の貸出しである。ただし、授業で使われ

る資料の場合は他校と重複が多いため、貸し出し冊数や期間を調整する必要がある。日常的に本を手にとりやすいように、学級文庫への貸出しがある。(1学期間)

・学校図書館の整備

図書館の本の配置の仕方や、レイアウト、購入する本や除籍する本の選定など、図書館全体の整備や各種リストの作成の相談にも応じる。さらに、1学期末には「図書館ですすめる本」パンフレットを全生徒に配布し、夏休みの読書を推奨している。

・東金図書館見学・学校訪問

児童・生徒が市立図書館に申し込み、心地よい居場所になるよう、利用の仕方や施設の説明。希望によりおはなし会(絵本の読み聞かせ等)も実施している。図書館の職員が、学校(学年)を訪問し、図書館の利用案内(紙芝居)や絵本の読み聞かせやストーリーテリング、ブックトーク(本の紹介)などを行う。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・学習委員会や教職員との連携により、昼休みの貸出しを行うことで、学校図書館利用者や貸出し数が増加し、落ち着いた雰囲気を作り出すことができた。
- ・国語科以外の教科や部活動でも学校図書館を利用することで、本や読書への関心が高まり、本を使って調べ学習をする機会が増えた。
- ・生徒によるポップ作品、テーマ別図書コーナー、書棚の整理整頓、室内の美化を進めたことにより、読書への関心が高まると共に、学校図書館の雰囲気が明るくなり、読書の楽しみ方や本に興味を持つ生徒が増えた。

(2) 課題

- ・蔵書の達成率は基準を上回っているが、かなり古くなった百科事典や情報に関する本など、実用的に使える資料が少ないため、今後の選書や市の図書館との情報交換を推進すべきである。また、図書資料不足を補うためにも、タブレット端末を併用して情報活用能力を育成する必要があると考える。
- ・学校図書館が日常的に利用され利活用をさらに充実させるためには、生徒が来室しやすい雰囲気づくりや心地よい居場所としての環境づくりが必要である。図書便りを活用して、生徒への啓発活動も増やしていく。
- ・学校図書館活用の活性化のためには、全校体制での取組が必要である。各教科等で、図書館活用の計画・実践などを積み重ねる必要がある。また、教科等での利用を増やすためには、関連する蔵書の紹介や提示など、教職員への働きかけが不可欠である。
- ・市の図書館との連携は十分ではない状況のため、今回のデータベース化実施を機会として図書館、各学校間の情報交換や図書計画等、連携を取り合う必要がある。

【授業実践報告1】

第2学年 国語科学習指導案

東金市立東中学校 国語科

1 題材名 「二年一組のお薦め三十五冊」

2 本時の指導と指導計画（3時間扱い 本時3／3）

| 時配 | 学習活動 | 学習の目標 | 評価規準 |
|----|----------------------|---|--|
| 3 | ・発表を聞き、これからの読書に役立てる。 | ・本の構成や展開、表現の魅力について自分の考えをまとめ、薦める本の魅力を紹介する。 | ・聞き手を意識して、根拠を明確にししながら、読書案内を作成している。【読む能力】 |

3 目 標

- ・私のお薦めの本の紹介し、読書への楽しさを伝えることができる。

【関心・意欲・態度】

4 展 開

| 時配 | 学習活動と内容 | 指導の手だてと留意点(◎)および評価(※) |
|---|--|--|
| 3分 | ・本時の学習目標、流れを確認する。 | ◎選んだ本とそれに結び付く自分の考えをまとめ、本の魅力や良さを級友に伝えることを確認する。 ◎発表の時のポイント、流れを確認する。 |
| 2分 | ・表現の工夫を確認する。 (声の大きさ、テンポ、抑揚、姿勢) | ◎順番に発表(スピーチ)させる。 |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 学級の皆にお薦めしたい本の魅力を伝えよう。 </div> | | |
| 30分 | ・発表の感想を書く。 (良かった点、読みたい本等) ・感想を発表する。 ○わかりやすい発表だった。 ○もっと本を読みたい。 ・自己評価を行う。 ○良さが伝わるように工夫できた。 ○読みたい本があった。 ・読書の楽しさについて自分の考えを記入する。 ○創造の楽しさ、心が勇気付けられる。 ○先を読む楽しさ。 | ◎紹介から、読んでみたい本を選ばせる。 ◎「どういうところがよかったか」、「どんな感じがしたか」を記入させる。 ※感想記入を積極的に行い、「よかったこと」のコメントを書き加えているか。 ※相手に良さを伝えることができたか。 【関心・意欲・態度】 |
| 5分 | ・感想を発表する。 | ※他の生徒のコメントを参考にして、感想をまとめることができたか。【書くこと】 |
| 3分 | ・本時の振り返り、次時の予告をする。 | ※交流を通して互いに学び合い、新たな考え方にきづくことができたか。(発表) 【関心・意欲・態度】 |

1 題材名 「学びて時にこれを習ふー『論語』から」

2 本時の指導と指導計画（4時間扱い 本時3／4）

| 時配 | 学習活動 | 学習の目標 | 評価規準 |
|----|---------------------------------|--|--|
| 3 | ・自分の経験と結び付く論語を探し、“私が選ぶ論語”を作成する。 | ・図書や資料を活用し自分の生活と結び付く論語を選び、お気に入りの論語を見付ける。 ・自分が選んだ論語とそれに関係する自分の経験をまとめる。 | ※図書を読み、自分の生活と結び付く論語を探そうとしている。 【関心・意欲・態度】 ※選んだ論語について自分の生活と結び付け、考えをまとめようとしている。 【読む能力】 |

3 目標

- ・図書や資料を活用してさまざまな論語を探することができる。【関心・意欲・態度】
- ・選んだ論語と自分の生活を結び付け、考えを深め、まとめることができる。

【読む能力】

4 展開

| 時配 | 学習活動と内容 | 指導の手だてと留意点(◎)および評価(※) |
|-----|---|--|
| 5分 | ・前時の復習をする。 | ◎前時に学習した論語を音読させる。 ◎選んだ論語とそれに結びつく自分の体験をまとめ、さまざまな論語の良さを級友に伝えることを確認する。 |
| 5分 | ・本時の学習の流れを確認する。 | ◎板書を写させる。 |
| | 学習課題 心に響く論語を選び、「私が選ぶ論語」を作ろう。 | |
| 18分 | ・自分の生活に結び付く論語を選ぶ。 ・ワークシートに選んだ論語の書き下し文、現代語訳をメモする。 | ◎論語リストと本を配付する。 ◎論語リストや本の中から心に響く論語を探すことを確認する。 ◎机間指導を行い、滞っている生徒に声を掛ける。 ◎書き下し文と現代語訳を写させる。 ◎ワークシートの書き方の見本を提示し、全員が取り組めるようにする。 ※自分の中で心に響く論語を探してきたか。【関心・意欲・態度】 |
| 5分 | ・選んだ論語の中から、自分の生活により関わりの深い論語を一 | ◎選んだ論語の中から自分の実体験に結びつく論語の一つにしぼらせる。 |

| | | |
|-----|---|---|
| 15分 | <p>つ選ぶ。</p> <p>・選んだ論語に関する実体験をワークシートにまとめる。</p> | <p>※論語の教えを自分の生活に置き換え、考えようとしている。【読む能力】</p> <p>◎選び終わった生徒は、その論語と自分の生活を結びつけた文章を考える。</p> <p>◎教師見本を用意し、どの生徒も取り組めるように支援する。</p> <p>※孔子の教えを理解し、自分自身と論語を結びつけ、「私の論語」をまとめることができる。【読む能力】</p> |
| 2分 | <p>・次時の予告</p> | <p>◎他の選んだ論語を読み、交流することを伝える。</p> |

5 板書計画

| |
|---|
| <p>学びて時にこれを習ふ―「論語」から</p> <p>心に響く論語を選び、「私が選ぶ論語」を作ろう。</p> <p>○論語リストや図書から論語を選ぶ。</p> <p>※自分の今までの生活と関わりのあるものを選ぶ。</p> <p>○論語に含まれる教えを探そう。</p> <p>○選んだ論語の中から一番、自分に関わりのある論語の一つにしぼろう。</p> |
|---|

1 題材名 私を描く

2 本時の指導と指導計画

(7時間扱い 本時2/7)

| 時配 | 学習活動 | 学習の目標 | 評価基準 |
|----|---------|---|---|
| 3 | パーツデッサン | <ul style="list-style-type: none"> 必要な資料を見つけ出すことができる。 資料を模写し、体の造りを知ることができる。 | ※見つけた資料を利用して意欲的にデッサンできる。 【発想や構想の能力】 (デッサン実技) |

3 目標

- 自分が描いてみたい体のパーツを見つけ、その資料を模写することができる。

【発想や構想の能力】

4 展開

| 時配 | 学習活動と内容 | 指導の手立てと留意点(◎) および評価(※) |
|--|--|--|
| 5分 | <ul style="list-style-type: none"> 前時の学習内容の確認をし、本時の内容と目標を確認する。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">描きたい絵を見つけて模写をしよう。</div> | | |
| 15分 | <ul style="list-style-type: none"> 予めターゲットとするパーツ(手や頭など)を2, 3選ばせる。 図書館の蔵書から自分が描きたいと思う絵を探し出す。 イラストレーションではなく、デッサンがしっかりとしている絵を選ぶ。 | ◎美術の棚の本に限らず図書館全体を回って探すよう促す。 ◎絵を選ぶ基準についてのルールを確認する。 ◎自分で決めたパーツ以外でもいいと思うものを見つけた場合、それを選んでもよいものとする。 |
| 20分 | <ul style="list-style-type: none"> 選んだ資料をしっかりと見ながらデッサンを始める。 前もって確認したデッサンの段取りを見ながら制作を始める 輪郭線にとらわれないよう描く 濃淡(白黒)をよく見ながら描く | ◎制作が進まない生徒に対して机間指導をしながら支援をする。 |
| 10分 | 後片付けをする。 本時の制作を振り返る。 | ◎資料と比較して、バランスのとれた絵になっているか見直す。 ※デッサンの基本的なルールにそってバランスよく描くことができる。 【発想や構想の能力】 |

| | |
|--|-------------------------------------|
| | ◎後片付けをすばやく行うように指示をする。 ◎次時の予告をする。 |
|--|-------------------------------------|

5 板書計画

| | | |
|--|--|--|
| <p>描きたい絵を見つけて模写をしよう。</p> <p>模写する本を見つけよう</p> <p>└ 絵を選ぶポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デッサンがすごいなと思う絵 ・気になるポーズの絵 | <p>模写をしよう</p> <p>└ デッサンの始め方</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 用紙に当たりをつけよう ② 中心線を引こう ③ 流れるように線をつなごう <p>※うつくしい線で描こう</p> | <p>用 具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケッチブック ・鉛筆（B、HB） ・消しゴム |
|--|--|--|